

公益財団法人千里リサイクルプラザ令和2年度第2回理事会議事録

1. 開催日時 令和2年11月20日(金)午前11時00分から同12時00分まで
2. 開催場所 吹田商工会議所会館 2階 第1会議室
3. 理事現在数 9名
4. 理事定足数 5名
5. 出席理事数 7名

西川 俊孝 門脇 則子 山口 耕右 小南 康隆
土屋 正春 原田 勝 山口 光浩

6. 欠席理事 柴田 仁 毛利 裕明
7. 出席監事 原田 憲 平野 浩三

8. 会議の目的事項

決議事項 第5号議案「公益財団法人千里リサイクルプラザ嘱託職員就業規則の一部改正の件」

第6号議案「公益財団法人千里リサイクルプラザ理事長の選定の件」

9. 会議の概要

(1) 議長の確認

冒頭で天野美晴参事が司会となり、書面決議で行われた令和2年度の定時評議員会において選任され新たに就任された原田憲監事と平野浩三監事の紹介の後、本日の議長は定款第37条の規定により西川俊孝理事長が務める旨を報告した。

(2) 定足数の確認

議長は審議に先立ち、新型コロナウイルスの全国的な蔓延状況で4月7日の緊急事態宣言以降プラザも著しく活動を制限され、吹田市との協議を受けて3密回避の為に、イベントや施設見学等、多くの事業が開催中止を余儀なくされたと述べた。また新型コロナウイルスに係る取扱いに関し、情報が錯綜し臨時雇用員の一部に勤務シフトが作成されない期間が生じ、当財団がその間の休業補償相当額を負担する事態となったことを報告した。併せて直接の事務局担当者からは報告書を提出させ、口頭厳重注意を行ったこと、またこれを契機として臨時雇用員就業規則の見直しを実施したことを述べた。新型コロナウイルスの来館者への感染回避対策としては、プラザA棟4階に来館者向けの受付窓口を特設し、消毒、検温、また万が一に備え来館者カードに住所、氏名等、後日追跡可能な情報の記載を義務付けていることを付け加えた。

その後、出席理事数が7名で定足数を満たしており、本日の理事会が有効に成立していることを報告した。

(3) 議案の審議状況及び議決結果

①第5号議案「公益財団法人千里リサイクルプラザ嘱託職員就業規則の一部改正の件」

議長は第5号議案を議題とし、事務局にその説明を求めたので、天野美晴参事が次のように説明した。

第5号議案の改正は、本年3月、70歳までの就業機会の確保を企業の努力義務とする高年齢者雇用安定法などの改正案が国会で可決されたことを受け、令和3年4月に70歳までの就業機会の確保が努力義務となり、同法の主旨を踏まえ当法人において現行の65歳定年を1年延長し、66歳定年とするものである。また委嘱日に66歳に達しているときは再委嘱しないことを原則とするが、嘱託職員の退職等に伴う新規の職員採用が困難な場合に備え、特段の事情による場合は1年を

超えない範囲で再委嘱できるものとする」と説明した。

説明が終わり、議長が質問及び意見を求めたが質問及び意見は無かったので採決を諮ったところ、満場一致をもって第5号議案は承認可決された。

②第6号議案「公益財団法人千里リサイクルプラザ理事長の選定の件」

議長は第6号議案を議題とし、事務局にその説明を求めたので、天野美晴参事が次のように説明した。

第6号議案は、本日の理事会の議長を務めている理事長西川俊孝氏から一身上の都合により理事長を辞任する旨の申し出があり、定款第25条第2項により現副理事長である門脇則子氏を後任の理事長として選定するものであると説明した。

説明が終わり、議長が質問及び意見を求めたが質問及び意見は無かったので採決を諮ったところ、満場一致をもって第6号議案は承認可決された。

この後、天野美晴参事が定款第37条の規定により、これより前理事長である西川俊孝理事に代わり門脇則子新理事長が議長となる旨を報告し、西川俊孝理事が議長席を退き門脇則子理事長が議長席に着いた。

(4) 報告事項

西川俊孝理事(前理事長)、門脇則子理事長(前副理事長)、山口耕右専務理事が、定款及び理事会の決議に基づく自己の職務執行状況につき、順次自ら報告を行った。

この後、議長が実施事業概要及び決算書類の詳細については、改めて事務局にその説明を求めたので、事業報告については上川善一郎主幹と下村研司主査が、決算書類他については田崎貴子係員がそれぞれ議案書を基に順次説明した。その後、上川善一郎主幹が平成29年度から令和3年度に亘る当財団中期計画の3年経過時の中間見直しについて、中間報告書を元に説明した。

議長が次期中期計画の策定については、本中間報告を踏まえるとともに、報告書策定後の新たな課題にも対応しながら、来年度当初にプロジェクトチームを立ち上げて策定作業に入る予定であると述べた。

説明が終わり、議長が質問及び意見を求めたところ、次のような質疑応答があった。

(原田理事)

新型コロナウイルス禍で殆どの実績が前年度を下回る中、おもちゃ病院の上半期の修理件数は前年度同期を上回っているが、それだけ多くの需要があると解釈してよいか。

(天野参事)

2ヶ月間の休館もあり、7月からのおもちゃ病院再開後はおもちゃを大事にしたいという多くの心待ちの人々が来館されたと考えている。

(原田理事)

くるくる環境スクールについては、昨年度は9回連続での講座であったが、今年度は新型コロナウイルスの影響を受けて9月開校との報告を受けたが、この後の予定を教えてください。

(下村主査)

本年度のくるくる環境スクールは報告書にあるとおり、9月12日に開校し、その後は9月26日、

10月3日、10月24日、12月5日と続き、最終日は令和3年1月9日の閉校式となる。よって本年度は全6回の連続講座となる。

他に質問や意見がなかったため、議長は理事長を辞任された西川俊孝理事の長年に亘る多大な功績に謝辞を述べた。これを受け西川俊孝理事が平成27年5月の代表理事就任から5年6ヵ月に亘るプラザでの激動の時期を振り返り、役員各位の協力に感謝の言葉を述べ、今後は当財団が門協理事長を中心に新たな課題に取り組み更なる前進を祈念する旨、挨拶を行った。

以上をもって議案の審議等を終了し、議長は正午に閉会を宣言した。

この議事録が正確であることを証するため、本理事会に出席した理事及び監事は記名押印する。

令和2年11月20日

理事長 門脇 則子

専務理事 山口 耕右

理事 小南 康隆

理事 土屋 正春

理事 西川 俊孝

理事 原田 勝

理事 山口 光浩

監事 原田 憲

監事 平野 浩三